



# 宗四小だより



6月号

児童数 396名

志木市立宗岡第四小学校

志木市上宗岡1-1-2

048-473-5250

<http://www.mune4syo.ed.jp/>

平成29年6月1日発行



学校教育目標 ○考える子ども ○思いやりのある子ども ○はたらく子ども ○じょうぶな子ども

## マイナスからプラスへ



校長 豊島 典子

5月6日(月)に学校応援団の市ノ瀬様、松下様をはじめ PTA の役員の皆様にご協力いただき、5年生が田植えをしました。炎天下の中、ありがとうございました。初めての体験にワクワクしながらも足の感触に反応も様々だったようです。秋に黄金色の穂が実るまで、どれだけの手入れと思いや願いが重なっていくか、勉強になることでしょう。

また、17日(水)には、今年度初めての避難訓練と体験学習がありました。地震の後火災が起きたことを想定し、避難経路を確認、基本行動の「お・か・し・も」を守ることを約束しました。いつ、どこにいるときに起きるかわからないため、訓練を重ねることで自分の命を守るためにどんな行動をすればよいのか、身につけていくことが大切です。学年ごとに煙体験や、救助袋から降りる体験もしました。1年生も真剣に取り組みました。

さて、先日は家庭訪問のご協力ありがとうございました。ご家庭での様子をうかがうことができ、今後の教育活動に生かして参ります。

子どもは、家では家族のことを学校では友だちのことを第一に考え、自分を抑えて周囲の人たちに気を遣い、ひたすらよい子に見えるようにがんばる場合があります。過剰適応してしまう子どもには、自己肯定感や自尊感情の低さが見受けられます。子どもたちは、よいところはあまり認識せず、悪いところをたくさん認識してしまうのです。これは大人たちが子どもによくなってほしいと願うばかりに、つつい注意を言い続けてきてしまった結果ともいえます。

子どもが失敗したり、問題を起こしたりすると、原因探しやよくないことの指摘、努力の足りなさを言い、叱咤激励してしまいがちです。マイナスのシャワーを浴び続けてきた結果、マイナス思考になっていることが多いものです。

マイナスをプラスに変えていくためには、できていないことを指摘するのではなく、すでにできていることを認め「ここまでできたね。」「やったね、すごいね。」とか「こうなって欲しいと思っているよ。」「こうしてくれるとうれしいな。」と言葉で伝えることが大切です。

子どもの心の痛みや苦しみを感じて「いたわる」ことや「やさしく大切にすること」は「甘やかし」ではなく、心の「支え」であり「安心感」に通じることだと思えます。

学校とご家庭、そして地域で子どもたちを育てていけたらと思います。よろしくお願いいたします。